

(2) 教学委員長・学生部長・学事課長

・教学委員長	奥山 則子	教授
・学生部長	茅島 江子	教授
・学事課係長	深澤 博臣	

3) 大学院学生数（医学系専攻博士課程）（平成21年4月現在）

学年	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会					
		男	女						
1	21	18	3	委 員 長：栗原 敏 学長 委 員：馬詰 良樹 教授 渡邊 直熙 教授 松藤 千弥 教授 矢永 勝彦 教授 オブザーバー：高木 敬三 専務理事	阿部 俊昭 教授	細谷 龍男 教授	中川 秀己 教授	山田 尚 教授	
2	27	15	10						
3	20	18	5						
4	19	20	4						
計	87	65	22						

4) 大学院学生数（看護学専攻修士課程）（平成21年4月現在）－平成21年4月開設

学年	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会 （ 修 士 課 程 ）					
		男	女						
1	12	0	12	委 員 長：菊地登喜子 専攻長 委 員：柿川 房子 教授 藤村 龍子 教授	櫻井 尚子 教授	茅島 江子 教授			
2	—	—	—						
計	12	0	12						

5) 大学および大学院など

(1) 医 学 科

I. 教学関係

1. 教学委員会

平成20年度医学科教学委員会は国領校選出委員2名および西新橋校選出委員15名の計17名で運営された。委員会は毎月2回定例で開催された。平成20年度の各教学委員の役割分担は以下の通りである。

医学科教学委員会：田嶋尚子（教学委員長）、渡邊直熙（副教学委員長）、寺坂治（副教学委員長）、中川秀己（学生部長、学生担当委員長）、羽野寛（副学生部長、学生担当副委員長）、福山隆夫（副学生部長、学生担当副委員長、1学年担当）、大川清（教育施設委員長、教育予算担当、2学年担当）、木村直史（試験委員長）、福島統、松藤千弥（カリキュラム委員長、カリキュラム自己点検・評価委員長）、柳澤裕之（3学年担当）、阿部俊昭（5学年担当）、小川武希（4学年担当）、川村哲也（臨床実習教育委員長）、中山和彦（学生相談室委員長）、福田国彦（学生保健指導委員長）、吉村道博（6学年担当）

2. 平成20年度医学科の進級、卒業者

1年：進級	102人	留年	0人	退学	1人
2年： "	91人	"	12人		
3年： "	96人	"	3人		
4年： "	96人	"	8人		
5年： "	104人	"	1人	退学	1人
6年：卒業	102人	"	0人		

以上の結果、平成21年度の学生数は1年－105人、2年－114人、3年－94人、4年－104人、5年－97人、6年－104人、合計618人

### 3. カリキュラムの改訂と経過

1年次のコース医学総論Ⅰにユニット「医療総論演習」および「Early Clinical Exposure Ⅱ」を新設した。2年次のコース臨床疫学Ⅱをコース医療情報・EBMⅡに改称した。3年次コース臨床基礎医学Ⅰにユニット「病態と薬物」および「和漢薬概論」を新設し、「感染と生体防御・免疫」をコース臨床基礎医学Ⅱから移設した。4年次のコース臨床医学Ⅰでユニット「放射線医学」を「画像診断学」に改称した。また「臨床腫瘍学」および「臨床検査医学」を新設した。

さらに「診断系実習」、「治療系実習」、「検査系実習」を「診断系・治療系・検査系実習」とした。コース臨床疫学Ⅳのユニット「Evidence-based medicine」は「Evidence-based clinical practice」とした。5年次のコース臨床医学Ⅱにユニット「外来実習」を新設、また小児科、整形外科、家庭医、救急の実習期間を延長し、コース全体として36週から40週に拡張した。

6年次コース臨床医学Ⅲはユニット「救急医学」のみとした。5年次の臨床医学総合試験Ⅱは医学総括試験、6年次の臨床医学総合試験Ⅲは医学卒業総括試験とし試験方法を抜本的に改めた。

### 4. 教学委員と学生会委員との懇談会

例年同様に平成20年7月7日（月）、平成20年12月9日（火）に開催された。学生会からの主な報告は前年度活動報告、会計報告、平成20年度予算案、京都府立医科大学定期戦成績（6勝16敗）、第50回東日本医科学学生総合体育大会成績、慈恵祭の準備・報告、学生のアンケート調査結果等であった。また、設備の改善および医学卒業総括試験に関する要望があった。

### 5. 第41回～第44回 Faculty Development

平成20年4月以降の開催および修了証を授与された参加者数は以下の通りである。

#### 第41回 Faculty Development

日 時：平成20年5月31日（土）  
場 所：西新橋校  
テーマ：試験問題作成  
修了証受領者（27名）

#### 第42回 Faculty Development

日 時：平成20年10月26日（日）  
場 所：西新橋校  
テーマ：家庭医実習  
修了証受領者（家庭医実習指導医6名）

#### 第43回 Faculty Development

日 時：平成20年11月1日（土）  
場 所：西新橋校  
テーマ：在宅ケア実習  
修了証受領者（学外指導者16名）

#### 第44回 Faculty Development

日 時：平成20年12月12日（金）  
場 所：西新橋校  
テーマ：OSCE 評価者トレーニング  
修了証受領者（39名）

6. 第43回～第46回医学教育セミナー

以下のとおり開催された。

第43回医学教育セミナー

日 時：平成20年8月20日（水）

場 所：西新橋校

講 演：① 共用試験正式実施後の臨床実習教育  
齋藤 宣彦 教授（日本医学教育学会長）

第44回医学教育セミナー

日 時：平成20年10月30日（木）

場 所：西新橋校

講 演：① 医療コミュニケーションと患者アウトカム  
Debra Roter 教授（Johns Hopkins University, Bloomberg School of Public Health）  
② 医療コミュニケーションの分析方法  
Susan Larson 氏（Johns Hopkins University, Bloomberg School of Public Health RIAS 専任コーダー）

第45回医学教育セミナー

日 時：平成20年11月11日（火）

場 所：西新橋校

講 演：① 東京慈恵会医科大学 e-Learning の事例紹介  
小松 一祐 氏（教育センター）  
② 鏡視下手術機器セッティング教材の作成  
村上 香織 氏（看護部）  
③ 在宅緩和ケア e-Learning の実施について  
柵山 年和 講師（腫瘍・血液内科）  
④ IT を活用した医療者教育が拓く未来  
Dr. David Byrne BSc PhD（Manager, Electronic Learning Resources & IT Services Unit Division of Medical Education, GKT School of Medicine KING's College London）

第46回医学教育セミナー

日 時：平成21年1月26日（月）

場 所：西新橋校

講 演：① 外来教育－診断推論の教え方とその課題  
生坂 政臣 教授（千葉大学医学部附属病院総合診療部）

7. カリキュラム特別検討会（平成20年度開催なし）

8. その他の報告事項

1) 新入生オリエンテーション

平成20年4月5日（土）、12日（土）の両日、新1年生を対象にオリエンテーションが行われた。平成20年度は入学式が4月4日（金）となったためオリエンテーションの日程が隔週となった。初日は、学生生活についての諸注意、病院見学実習の説明、小論文作成等があり、2日目は学長より建学の精神と医学生としての心構えについての講話、カリキュラムの説明、健康管理の説明等があった。

2) 首都大学東京から学生の受入れ

首都大学東京との教育・研究交流協定書に基づき特別科目等履修生を受入れた。

平成20年度は国領校7名、西新橋校4名、合計11名の学生の単位を認定した。

- 3) 学祖の墓参および学長、教学委員と学生の懇親会  
学長、教学委員、学生代表が平成20年10月11日（土）に青山墓地に眠る学祖高木兼寛先生の墓参をした。また学祖を偲んで千代田区一ツ橋の如水會館で懇親会を開催した。
- 4) 学生生活アドバイザー  
担当教員はそれぞれ2～3名の学生を受持っている。1年生は国領校教員および第三病院勤務教員、2年生は西新橋校基礎講座教員が担当している。また、総括と意見交換のためにアドバイザーが集まって懇談会を開催した。
- 5) 共用試験システム  
「臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム」が例年どおり運用された。OSCEは平成21年1月17日（土）に西新橋校大学1号館8階演習室で、CBTは平成21年2月6日（金）に西新橋校4階講堂で実施された。受験者数104名、欠席者なしであった。またCBTは2名の再試験を2月27日（金）に医療系大学間共用試験実施評価機構で実施した。
- 6) 4大学学生教育交流会  
本学と昭和大学、東邦大学、東京医科大学の4校が持ち回りで年2回の開催が続けられている。カリキュラム全般および臨床実習、卒業試験、医師国家試験、共用試験等に関する話題を中心に継続的な交流が図られている。平成20年度は戦略的大学連携支援事業に応募して採択され、事業を展開している。平成20年度の開催日および当番校は以下の通りであった。  
第20回平成20年5月23日（金）昭和大学  
第21回平成20年11月21日（金）東京慈恵会医科大学
- 7) 医学科大学説明会  
平成21年度入学試験のための医学科大学説明会は平成20年7月26日（土）午後1時から中央講堂で開催され、受験生、父兄、進学指導担当教員等約300名の参加があった。なお、当日は大学1号館の講堂および実習室等の教育・施設の見学が行われた。
- 8) オープンキャンパス  
平成20年度の医学科オープンキャンパスは8月30日（土）と9月27日（土）の両日に開催され、約800名の参加があった。

## II. 入学試験

1. 入学試験は、平成21年2月4日（水）に五反田TOCビルで一次試験を、2月15日（日）・16日（月）・17日（火）に本学西新橋校舎で二次試験を実施し、2月20日（金）午後3時に合格発表を行った。志願者数は2,542名、入学者数は105名である。

入学者の内訳は下記の通りである。

- ① 男子 71名、女子 34名
- ② 現役 31名、1浪 46名、2浪 21名、その他 7名
- ③ 地域別入学者数

北海道	1名	東海・近畿地方	11名
東北地方	1名	山陽地方	1名
東京および関東地方	84名	四国地方	1名
甲信越・北陸地方	2名	九州地方	4名

### Ⅲ. 国家試験

#### 1. 医師国家試験

第103回医師国家試験は平成21年2月14日（土）～16日（月）の3日間に渡り実施され、結果が3月27日（金）に発表された。

本学からの受験者数は108人であり、合格者106人、合格率98.1%であった。全国平均合格率は91.0%であり、本学の合格率は全国3位、私立2位であった。新卒者については102人中合格者101人、合格率99.0%（全国平均94.8%）、既卒者については受験者6人中5人が合格し合格率83.3%（全国平均54.3%）であった。

### Ⅳ. 退任記念講義

国領校では、平成21年1月17日（土）午後3時より本館1階講堂にて、鈴木暁之教授（人間科学教室 数学研究室）の最終講義「演題：数学余談」が開催された。

最終講義終了後、「ベラ食堂」で記念パーティーが盛大に開催された。

平成21年1月31日（土）午後6時から高木2号館地下1階「リーベ」において記念パーティーが盛大に開催された。

最初に、田嶋尚子医学科長から定年退任される梅澤祐二教授（耳鼻咽喉科学）、安田允教授（産婦人科学）、笠原洋勇（精神医学）、鈴木暁之教授（国領校・数学研究室）の略歴が紹介され、栗原敏学長より挨拶があり記念品が贈呈された。また、学生会より記念品並びに花束贈呈があり、同窓会、父兄会より記念品の贈呈があった。

#### (2) 看護学科

#### I. 教学関係

##### 1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成20年4月～平成21年3月

教学委員長 奥山 則子

教学委員 藤野 彰子、櫻井美代子、茅島 江子、平尾真智子

##### 2. 教学関連の主な事項

- ① 平成20年度は、1年生（17期生）42名、2年生（16期生）43名、3年生（15期生）35名、4年生（14期生）37名で新学期をむかえた。
- ② 平成20年度オリエンテーション（看護継続ゼミ）は学年の始めにあたり、「生活者としての人をみる」を全体テーマとし、4月5日から4月12日にかけて実施された。この間、国立女性教育会館（埼玉県嵐山町）に宿泊しての学年間討議、学年別討議、レクリエーションのほか、阿部志郎氏（神奈川県立保健福祉大学名誉学長）による講演会（テーマ～人生～愛し愛されて）やシンポジウム（テーマ～生活者としての人をみる）を開催し、大変好評であった。また、健康診断や防災、防犯についての講習会、カルト教団への注意を喚起する講演も平行して行なわれた。
- ③ 「看護継続ゼミ」Ⅰ、Ⅱについては、「自分をみる」「他者をみる」をテーマに、5人の教員のもと開講された。「看護継続ゼミⅢ」については、「看護の対象をみる」をテーマに、8領域で開講された。また、「看護継続Ⅳ」は、「医療の安全管理と倫理ワークショップ」への参加と、昨年同様”チーム医療としての看護の役割”を考えるため、「他職種の機能と役割体験」を各自第三病院と柏病院に従事する希望の職種の仕事を見学体験した。